

## 「特別警報」への対応について

気象庁は、8月30日から大雨や暴風などによって、その地域で数十年に一度しかないような災害が差し迫っているときに出される「特別警報」の発表を始めます。この特別警報について、NHKは、テレビは字幕による速報、ラジオは上乘せ放送によって迅速に伝えていきます。

### 【特別警報の字幕速報 イメージ】

- ・ベースは紫色
- ・[ ] の中に特別警報の種類

- ・冒頭に都道府県
- ・市区町村名が続く



### 〈速報方針〉

- テレビは、地域の放送局から、総合とEテレで、チャイム音付きで速報  
全国放送でも別途速報（総合、Eテレ、BS2波）
- ラジオは、地域の放送局から第1とFMで速報  
東京からも第1と第2、FMで速報
- 状況に応じて特設ニュースも

## 【気象情報 画面イメージ】



□上の図は気象情報の時間などに使う画面のイメージです。

NHKは、警報は **暴風** 注意報は **雷** など、種類のみ1文字から3文字で表記しています。しかし、より切迫した事態に発表される特別警報については、種類の前に「特別」の2文字を加え、**特別大雨** などと強調して伝えます。

### 【一般の気象警報 Eテレでも字幕速報】

□NHKは、これまで一般の気象警報について、テレビ放送では総合だけで字幕速報を行ってききましたが、8月30日からはEテレでも字幕速報を実施します。